

# メタファーから見た **Krieg**（戦争） —意味的に類似する語彙との比較

小野寺 亨 太

[キーワード：① Konflikt ② Krieg ③ Krise ④メタファー  
⑤認知言語学]

## 1. 序

2022年2月24日に、ロシアがウクライナに侵攻したことにより始まったロシアとウクライナ間の争いは、Web上では、Der Russisch-Ukrainische Krieg/Russlands Krieg Gegen die Ukraine/Ukraine-Konflikt/Ukraine-Krieg/Ukraine-Krise/Russland-Ukraine-Konflikt/Krieg in der Ukraine など多様に表現されている。2014年に起こったロシアとウクライナの争いは研究者の中には「第一次ロシアウクライナ戦争」<sup>1)</sup>と呼ぶ者もいるが、世間では Ukraine-Krise と呼ぶこともある。また本稿執筆過程で Krieg ist Konflikt/Krise と表現している用例を多く見かけた。このように Krieg/Konflikt/Krise という抽象概念は非常に類似して使用されていることから、これらは類似の、または共有された意味持っていると考えられる。ただし Konflikt/Krise であれば Krieg である、というわけではない。そのためこれらは同じような意味の領域を持つ概念ではあるが、どの側面に焦点を当てる

か、意味の中心としているかによってそれぞれの意味が区別されていると予想される。そしてこれらの概念がどのような意味の違いを持ち、お互いにどのような位置関係にあるのかは分析が必要である。本論文では、このロシアウクライナ戦争を題材に *Krieg* (戦争) と類似の概念である *Konflikt* と *Krise* を比較対象とし、認知言語学的アプローチから関係性の分析を行う。

本論文は、第2節で *Krieg/Konflikt/Krise* それぞれの定義を複数の辞書で確認する。言語内的な意味の区別とならんで、背景的な知識な考慮に入れるために百科事典も用いる。その後、第3節では「日常的な概念体系は、本質的にメタファーである」という Lakoff/Johnson (1980: 3) の考えを頼りにメタファーとは何かを確認した後、第4節でメタファーの認定法を確認する。第5節では対象とする3つの概念 *Krieg/Konflikt/Krise* の捉えられ方と運用の側面を見るために、南ドイツ新聞 (*Süddeutsche Zeitung* (以下、SZ)) とフランクフルターアルゲマイネ新聞 (*Frankfurter Allgemeine Zeitung* (以下、F.A.Z.)) の報道文を用いて、メタファーを収集し分析する。最後に第6節では、第5節までの仮説、分析結果からそれぞれの概念の捉え方の差異を観察し、それら概念の関係性の記述を試みる。

## 2. *Krieg/Konflikt/Krise* の定義

本節では *Krieg/Konflikt/Krise* の定義を複数の辞書と百科事典で確認するとともに、それぞれの概念がどのような関連性にあると考えられるのかを確認する。まず辞書と百科事典の違いだが、「言語的な情報を扱うのが辞書であり、事物に関する知識を扱うのが百科事典である」<sup>2)</sup>。これら両方を扱うのは、語を定義するためには辞書的な意味に加え、その語を形成する背景にある知識の確認も必要であると考えためである。辞書には、DUDEN (オンライン版) と DWDS を、百科事典には Brockhaus (オンラ

メタファーから見た Krieg (戦争) —意味的に類似する語彙との比較 (小野寺亨太)

イン版) を用いる。以下、それぞれの概念に対する辞書、百科事典の記述内容である (下図 1~3 を参照。)

| Krieg の辞書的意味・百科事典的意味                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>DUDEN</p> <p>武力を用いた、国家や国民間の決着をつける紛争；より大きな軍事的な対決、その対決はより長い期間、延長する。</p>                                                                                                                                             |
| <p>DWDS</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 国家間、軍事同盟間、民族、社会、あるいは、その他の利益団体の間で、たいてい、大規模かつ、より長期間にわたる組織的な軍事対決</li><li>2. 比喩：a) 多くの労力を持ってして行われた、国家的あるいは、経済的、煽動、ないしは、何か、誰かに対する行動。b) 激しく、たいてい手間のかかる議論／対決</li></ol> |
| <p>Brockhaus</p> <p>2 つあるいは、いくつかの国家、団体、あるいは、国家内部のグループ間の武力的な対決 (内戦 (Bürgerkrieg))、それらは少なくとも争い相手の一つが軍事的に組織されている；比喩的な意味では、また非暴力的、競争的な対決 (例：貿易戦争 (Handelskriege))。</p> <p>(筆者訳)</p>                                      |

図 1 Krieg の辞書的意味・百科事典的意味

| Konflikt の辞書的意味・百科事典的意味                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>DUDEN</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. ある困難な状況、その状況は、それによって生じる、二つあるいは、何人かの人々／グループが、異なる願望、要求、他にそれらに類似したものを持つがために。</li><li>2. ある (精神的に) 困難な状況、その状況では、人は様々な二者択一を決めることができない。</li><li>3. ある武装した／軍隊の危機</li><li>4. 違法行為をする mit dem Gesetz in K. geraten</li></ol> |
| <p>DWDS</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 相容れないこと、諍いの状況／様子</li><li>2. 内部での衝突／抗争、内部分裂</li></ol>                                                                                                                                                                 |

Brockhaus

人間の共存のあらゆるレベルで生じ、これを本質的に決定する心理的あるいは、社会的な事態。

(筆者訳)

図 2 Konflikt の辞書的意味・百科事典的意味

Krise の辞書的意味・百科事典的意味

DUDEN

1. ある困難で、不確か、あるいは、危険な状況や時（多くの者を変え得る）
2. 医療；難病の峠

DWDS

1. 困難で、危険な状況、その状況では、決断を下す必要がある。
2. 医療：ある急性疾患の過程／経過の重大な転換点

Brockhaus

一般：困難で、危険な状況、時（その状況、時には、決断を下す必要がある。）  
(筆者訳)

図 3 Krise の辞書的意味・百科事典的意味

辞書的な意味だけでは語を構成する情報が不足しているため、ここでは辞書的な意味と百科事典的な意味をともに記述することにする。以上の記述から *Krieg* は、2 つ以上の国家、民族、社会、軍事同盟、利益団体、国家内部の団体（国民）間の争い、かつ少なくとも片方が軍事的に組織されており、長期に及ぶ対決であると言える。次に *Konflikt* の定義を見ると *Krieg* のそれと類似点が多い。*Konflikt* の 2 つ以上の国家やグループが争うという記述は *Krieg* と同じであるが、*Konflikt* の場合には何人かの人々が争うとの記述もあるため、*Krieg* と比べ日常のいざこざにも言及できる。よってかなり広範囲の争いをその意味範囲に含んでいることがわかる。また *Krieg* が対決や戦い自体を表すものである一方、*Konflikt* にはその対決や戦いの状況にも焦点が当てられているようである。さらに *Konflikt* の記

述には異なる願望、要求などを叶えるために陥る困難な状況とあるが、これは Krieg が政治的な目標（領土の獲得など）を達成するために行われるものという事実があることから同じことが言えそうである。したがって争いという意味では Konflikt という概念が Krieg の上位概念に位置する現象として位置づけられそうである。また Krise と Konflikt は、どちらも混沌とした状況や時を示すが、Krise は早急に決断を下す必要がある点で、何かの転換点という意味も含んでいるように思われ、多くの人々の何かを変える性質があるとの記述から、Konflikt よりも広範囲の意味を持つと考えられる。このことから、Krise と Konflikt の関係もまた、上位語一下位語の関係にある可能性が出てくる。

次に、この上位語一下位語の関係に着目する。そこで類似の概念をグループ毎にまとめ、またどのグループが関連し合っているかを示す Dornseiff (2004) を見ると、これらの概念は以下のような概念と関連していることが分かる。それぞれ、Krieg（分類番号：18.29）は Töten (2.41)/ Heftigkeit (5.36)/ Zerstörung (5.42)/ Mut (10.37)/ Feindschaft (15.47)/ Streit (15.48)/ Kampf (15.51)/ Angriff (18.32)/ Hieb- und Stichwaffe (19.23) の下に入っており、Konflikt は Unentschlossen (9.7)/ Kampf (15.51)/ Widerstand (15.46)/ Internationale Politik (18.5) の下に入っている。また Krise は Unordnung (3.37)/ Unvollendet lassen (9.32)/ Gefahr (9.72)/ Misslingen (9.76) の下に入っている。以上を踏まえ、特に Krieg/Konflikt/Krise の関係に着目すると、Krieg と Konflikt は 15 というグループに共通して属していることが分かる。さらにこのグループ 15 では、Krieg が Streit と Kampf の下に入っているのに対し、Konflikt は Widerstand と Kampf の下に入っている。ここで、Krieg と Konflikt を差別化するために共通する Kampf とそれぞれ持っている Streit と Widerstand の意味を確認する必要がある。Streit/Kampf/Widerstand をそれぞれ上記の概念と同様に調べると以下のようにま

とめられる（下図4～図6を参照）。

| Kampf の辞書的意味・百科事典的意味 |                                                |
|----------------------|------------------------------------------------|
| DUDEN                |                                                |
| 1.                   | 敵対する軍のより大きな軍事的な対決                              |
| 2.                   | (a). 2人あるいは数人以上の〔個人的な〕敵対者間の、物理的な、武器で行われる、激しい対決 |
|                      | (b). 敵対者たちの見解、利益、目的に関する敵対者間の激しく行われる論争          |
|                      | (c). スポーツの試合                                   |
| 3.                   | 何かの達成や阻止のために絶えず行われる努力                          |
| 4.                   | 内なる葛藤、何かのための内なる戦い                              |
| DWDS                 |                                                |
| 1.                   | 敵対者間の激しい対決                                     |
|                      | (a). 軍事的な敵対者、敵対勢力間の大きな規模の対決                    |
|                      | (b). 2人あるいは数人以上の個人的な敵対者間の（武器で行われる）物理的な対決       |
|                      | (c). スポーツ選手の対決、勝利のために戦う対決、試合                   |
|                      | (d). あらゆる力の動員、ある事柄を阻止するために、あるいは何かを実現するために。     |
| Brockhaus            |                                                |
|                      | 記述なし                                           |
|                      | (筆者訳)                                          |

図4 Kampf の辞書的意味・百科事典的意味

| Streit の辞書的意味・百科事典的意味 |                                                     |
|-----------------------|-----------------------------------------------------|
| DUDEN                 |                                                     |
| 1.                    | 激しい対決、言い争い〔ある個人的な敵対者と〕しばしば激しい討論、激しい口論、しばしばまた掴み合いの争い |
| 2.                    | 戦闘/戦い (Kampf)                                       |
| DWDS                  |                                                     |
| 1.                    | 言葉で行われる、2人あるいは数人以上の個人的な敵対者間の激しい対決、口論                |

2. 古風 武器を用いた戦い (kampf)

Brockhaus

記述なし

(筆者訳)

図5 Streit の辞書的意味・百科事典的意味

Widerstand の辞書的意味・百科事典的意味

DUDEN

1. 抵抗、対抗
2. (複数形でければ) 抵抗運動
3. (a) 誰か、ある事柄を妨害する何か、障害であることがわかること  
(b) 圧力、力、ある物体の動きに抵抗する圧力、力
4. (a) 特定の物質の性質、電流の流れを阻む。  
(b) 電子回路素子

DWDS

1. 抵抗、対抗、防衛
2. 阻止する力
3. (a). 特有の物質の性質、強さを決める、電流の流れを妨げるその性質。  
(b). 物理量 (R)、直流電圧の場合には、導体の電圧 (U) と電流 (I) の商によって決まる物理量。  
(c). メトニミー電流の減少、調整のための部品

Brockhaus

(政治的、精神的、非暴力の抵抗についての記述あり。省略。)

(筆者訳)

図6 Widerstand の辞書的意味・百科事典的意味

まず Krieg と Konflikt に共通している Kampf を見る。Kampf の記述をまとめると、敵対する複数人の個人的あるいは軍事的な大規模の対決であると言える。また、何かの実現や阻止に対して行われる論争や物理的争い、スポーツの試合など広範囲の争いを意味的にカバーしている。したがって Kampf は Krieg の持つ争い自体に関する記述や、Konflikt の持つ個人間の

小さな争いに関する記述を含み、さらにどちらにも見られない、議論や試合などのより広範の意味の争いを表している。そのため、Kampf はこれらの概念の上位にくるといえる。

次に Krieg と Konflikt を差別化するために、両方の概念が異なり属している Streit と Widerstand という概念を見ていく。まず Krieg の属する Streit は、Konflikt のように口論も表すことができるようだが、Krieg との関係性ではその定義の中でも武器を用いた戦い、つかみ合いの戦い、敵対者との物理的な対決の意味に焦点が当てられていると考えられる。他方、Konflikt の属する Widerstand は、争い自体ではなく、その争いへの抵抗やそれによって生じる不利益への抵抗を表している。これは Konflikt が争いだけではなく、その状況を表す性質を持っていることに加え、争いにより生じる被害などの状況も表すという上記の記述と一致している。ここからわかることは、Krieg と Konflikt はどちらも争い自体を表しているが、やはり Konflikt は、Krieg が持つ情報以上のものを持っているため、Krieg と Konflikt の関係を考えると、Krieg が Konflikt の下位にくるのではないかと仮定できる。

次に Krise を見る。Krise はグループ 3 やグループ 9 に入っている。第 2 節で Krise と Konflikt はどちらも「混沌とした状況や時」を表すことを確認した。ここで Krieg という事柄を考えると、敵対するもの同士の激しい戦いであるため、Konflikt や Krise が表す「混沌とした状況や時」の一つと考えられる。すると問題は Konflikt と Krise の関係性になる。Krise は Unordnung / Unvollendet lassen / Gefahr / Misslingen など、争いだけではなく広範な不安定な状態、危険な状態を表す概念と関連している。これらの概念は、争いや争いの状況などを喚起することができる概念ではあるが、他の不安定な状況や時を表す概念にも言及することができる。ここで Krise が属する概念は、Krieg や Konflikt が属する概念よりもはるかに抽象的な

メタファーから見た Krieg（戦争）—意味的に類似する語彙との比較（小野寺亨太）

概念であることが容易にわかるため、これらの概念は以下のような上位—下位の関係にあると仮定できる（下図 7 を参照。）。

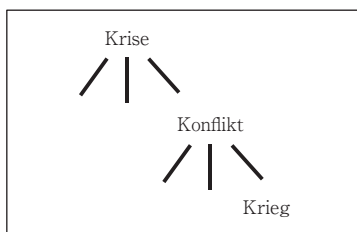


図 7 Krieg/Konflikt/Krise の上位—下位の関係

### 3. メタファーと概念メタファー

第 2 節で Krieg/Konflikt/Krise の辞書的意味と百科事典的意味を確認したが、これは人々がどのようにこれらの概念を理解使用しているかの骨組みとなる情報にすぎない。そのためメタファー表現を見ることによって、具体的な言語使用でどのようにこれらの概念が捉えられているかを見ていきたい。改めてメタファーとは、人の思考や行動と深い関わりがあるものである。したがってメタファーを分析することは、人々がどのように概念を捉えているかを特定することであるといえる。本節でさらにメタファーとは何かを、より具体的な例を挙げて解説を行う。

#### 3.1. メタファー

Krieg/Konflikt/Krise は、どれも抽象的な概念ではあるが、例えば戦争（Krieg）のように、より具体的な概念（〈戦争は台風である〉など）を表すのに使用される一方で、より抽象的な概念（〈議論は戦争である〉など）を理解するために使われる場合もある。すなわち、これらは決してとらえやすいとは言えない概念であり、そのような様々な要素が組み合わさって

構成されている概念の意味を説明するには、例えば、りんごのような、かなり具体的な対象物の概念と比べると、一言で簡単に記述できるものではない。ここで、人の概念体系の大部分を成立させているメタファーという概念を取り上げることにする。

メタファーを始めとする比喩は詩的、文学的な言い回しと考えられてきた節があるが、認知言語学では、比喩、とりわけメタファーは、「言語活動のみならず思考や行動にいたるまで、日常の営みのあらゆるところに(…)浸透している」<sup>3)</sup> という立場から研究がなされてきた。そして比喩の一種であるメタファーは、直喩のように「～のような」を用いることなく(例えば、〈あの男は悪魔のような人間だ〉ではなく〈あの男は悪魔だ〉のように)、「ある事柄を他の事柄を通して理解し、経験すること」を指す。以下に具体的にメタファーとは何かを例を挙げながら確認する。例えば Diskussion という概念は、以下の Pielenz (1993: 69) のように度々戦争用語を用いて表される。

- (1) a. Er attackierte jeden einzelnen Schwachpunkt seiner Argumentationen.

「彼は議論のあらゆる弱点を攻撃する。」最上 (1994: 75)

- b. Wenn du diese Strategie fährst, dann wird er dich vernichten.

「このような戦法で行けば、彼にやられてしまうよ。」最上 (1994: 75)

- c. Nach diesen Angriff konnte ich meine Position nicht länger halten.

「このような攻撃の後で、私はもはや立場を保てなかった。」最上 (1994: 76)

- d. Er verteidigte seine Argumentation mit allen Mitteln.

「彼はあらゆる手段で議論を擁護した。」最上 (1994: 76)

これら (1) の例文を見てわかるとおり、議論というものは物理的な攻撃をするものではない。ただここで注目したいのは、議論と戦争の構造の類似である。ここでは戦争の参与者 (兵士) や行為 (武器を用いた攻防)、計画 (戦法) の要素がそれぞれ、議論でいうところの参与者 (論者)、行為 (言葉を用いた主張)、計画 (論法) に当てはまり、(議論) を理解するために、似たような構造を持つ戦争という概念の性質を借りている様子がかがえる。

### 3.2. 概念メタファー

3.1. 節で挙げた例以外に議論というのは、戦争以外にも以下の Pielenz (1993: 70–71) における (2) の例のように、他の具体的な概念によって捉えられることもある。

(2) a. Wir sind davon ausgegangen.

「我々はこの点から出発した。」最上 (1994: 76)

b. Wir kamen zu einem beunruhigenden Schluß.

「我々は憂慮すべき結論に到達した。」最上 (1994: 77)

c. Dein Argument hat nicht viel Substanz.

「君の議論はあまり内容がない。」最上 (1994: 77)

d. Dein Argument hat Lücken.

「君の議論には穴がある (欠陥がある)。」最上 (1994: 77)

e. Deine Arugumente (Theorien) haben kein Fundament.

「君の議論 (理論) には土台がない。」最上 (1994: 77)

f. Deine Theorie bricht auseinander.

「君の理論は崩壊する。」最上 (1994: 77)

どれも字義どおりの解釈では違和感を覚えるが (2a) と (2b) の例は〈議論は旅である〉、(2c) と (2d) の例は〈議論は容器である〉、(2e) と (2f) の例は〈議論は建物である〉とすると理解できる。このようにメタファーは一見意味的には成立しないと思われる表現を構造の類似した別の概念で断定的に喩えることによって抽象的な概念の理解を容易にする働きをしている。これは言い換えれば、より具体的な概念である「戦争」「旅」「容器」「建物」(起点領域 (source domain)) などから、より抽象的な概念である「議論」(目標領域 (target domain)) へ特定の要素の写像が行われているといえる。「議論」の場合には、様々な種類のメタファーがあり、〈議論は容器である〉、〈議論は建物である〉などのグループに分かれた。このようなメタファーの上位に位置するようなグループは「概念メタファー」と呼ばれる。これは、認知言語学では専ら〈A は B である〉(A ist B/A als B) の形式で示される。

#### 4. メタファーの認定

第3節ではメタファーと概念メタファーとは何かを確認した。しかしどのように文中で用いられているメタファー表現を特定するかを確認する必要がある。本稿では、pragglejaz Group (2007) で扱われている MIP (metaphor identification procedure) というメタファー表現の認定手順を参考にすることにする。pragglejaz Group (2007: 3) では以下の手順でメタファーを規定している (下図 8 を参照)。

MIP とは次のとおりである

1. 意味の一般的な理解を確立するために文ー談話全体を読む。
2. その文ー談話の語彙の単位を決める。
3. (a) そのテキストの各語彙単位に対して、文脈におけるその各語彙単位の意味を確立する、つまり、そのテキストにより引き起こされる状況

- （文脈上の意味）における実体、関係、または属性にどのようにその語彙単位が適用するかである。語彙単位の前後にあるものを考慮する。
- (b) その各語彙単位に対して、その各語彙単位がより基本的で現代的な意味を所与の文脈における意味よりももつかどうかを判断する。私たちの目的には、基本的な意味は以下の傾向がある：
- より具体的には：基本的な意味が呼び起こすものは、より想像したり、見たり、聞いたり、感じたり、嗅いだり、味わったりし易くなる。
  - 身体的行為に関連する。
  - より精密である（漠然とは対照的に）。
  - 歴史的により古い。
- 基本的な意味は、必ずしも最も頻繁な語彙単位の意味ではない。
- (c) 語彙単位がある基本的な現在—現代の意味をほかの文脈で所与の文脈よりも持っている場合、その文脈上の意味がその基本的な意味と対照的であるが、文脈上の意味が基本的な意味と比較して理解できるかどうかを判断する。
4. 満たす場合、その語彙単位を比喩的なものとしてマークする。（筆者訳）

図8 MIP (metaphor identification procedure) でのメタファーの認定手順

下図9は、MIPの方法にしたがって、メタファーかどうかを判断した例である。

Konflikt（争い）

Step1. Die größte Gefahr ist, dass der Konflikt außer Kontrolle gerät.

最も大きな危険は、その争いが制御不能に陥ることである。

(09.03.2022) „Schaeffler nimmt zwei Wochen alte Prognose zurück“ SZ.

Step2: Die/ größte/ Gefahr/ ist/, dass/ der/ Konflikt/ außer/ Kontrolle/ gerät./.

Step3:

- (a) contextual meaning: この文脈で Konflikt は、制御不能になるものとして扱われているが、Konflikt は何かマシンのような本来制御可能なものとして表されている。

- (b) basic meaning: Konflikt の基本的な意味は、2 人、2 グループ以上の願望を伴った争い自体や、それに付随する混沌とした状態」を表すものである。
- (c) (a) vs. (b): 文脈上の意味は基本的な意味と対照的であり、それと比較することで理解できる。
- Step4: したがって、この文脈での Konflikt はメタファーである。

図9 MIP (metaphor identification procedure) でのメタファーの認定例

ここでは Pragglejaz Group (2007) の手順に従い、テキスト内の語彙のメタファーの認定を行ってみる。まず Step1 でテキスト全体を読み、Step 2 で語彙の単位を決め、語彙同士の上に区切れ目を入れる。次の Step. 3 では、(a) - (c) の手順を踏み、文中の語彙がメタファーであるかの認定を行う。試しにここでは文中の Konflikt という語彙を取り扱うことにする。ここでの流れは、(a) で文脈における意味を、(b) で基本的な意味の記述をそれぞれ行い、(c) で基本的な意味と文脈的意味に相違があるかどうかを記述する。Step 4 では、文脈的な意味の記述である (a) と基本的な意味の記述である (b) の間に相違がある場合はその語彙をメタファーである、相違がなかった場合にはメタファーではない、という結果を記入する。ここでは、(a) と (b) の Konflikt に関する記述に乖離が見られるため、メタファーと判断される。以下、メタファーの認定はこの手順に従い行うことにする。

以上のようにメタファーの認定を行っていくが、そこからロシア側の主張やロシアを擁護する主張で成り立つメタファーを取り除くことにする。したがって他国の主張で成り立つメタファー表現が散見されることがあるが、これはドイツ（政府）と同じ立場（つまりロシア批判の立場）であること、そして仮に借用された表現であっても、ドイツ語に翻訳され、それを読者が読むことを考えれば、それはすでに読者の概念理解に寄与してい

とも言えると考えためである。また、ロシアとウクライナの争いに関係の無い、過去の他の国同士の Krieg/Konflikt/Krise もメタファーから除外し、Konflikt/Krise はロシアとウクライナ間で起きた争いに直接言及しているもののみを対象とした。そのため例えば Korona-Krise はもちろん Energiekrise/Klimakrise など扱わない。Krieg/Krise/Konflikt がウクライナとロシア間の争いであることを判断する基準としては、前の文章でロシアとウクライナに関して言及しているかどうかを基本的な判断基準とする。

以下、第3節で見たようなメタファー表現の例が、Krieg/Konflikt/Krise 毎に、新聞報道文においてどのようなメタファー表現が見られたのかをみていく。

## 5. Krieg/Konflikt/Krise のメタファー表現の分析

第3節でメタファーとは何かを確認した。本節では Krieg/Konflikt/Krise という抽象概念が具体的にどのように捉えられているかを実際の言語使用の場から確認する。本稿で扱っているこれらの概念は私たちの具体的、物理的、身体的な経験と直接的に密接に結びついているとは呼び難く、また様々な知識を集合させ成り立っている概念であるため意味の理解に困難を要する。そこでメタファーというのは、このような構造化された知識を分解し、私たちがうまくその意味を理解するための手段となり得ると考えられるため、私たちの言語使用に表れているのではないかと推測する。その言語使用の場として、本稿では SZ と F.A.Z. というドイツの新聞を扱い、ロシアとウクライナの争いを題材にメタファー表現を収集した。期間は2022年の争い開始時より1か月を範囲と定め、収集する記事は母数を揃えるために1日当たり最大10記事とし、記事は Excel のランダム関数を用いて記事の選定を行った後に、各新聞社のアーカイブで Ukraine+Russia+Krieg/Krise/Konflikt で and 検索を行い記事を集めた。

第2節で、Krieg/Konflikt/Krise が、Krieg と Konflikt が争い自体、Konflikt と Krise が争いの状態と時を表すものであると確認し、Krise → Konflikt → Krieg というような上位—下位の関係を仮定した。ここでは、その関係がメタファーでも見ることを確かめる。これらの概念は上位語、下位語の関係になっていると想定できるため、互いに重なり合う意味の範囲があると思われるが、重なり合わない部分も当然出てくるであろう。そこで具体的にどう認識が違っているのかをメタファー表現を分析し考察する。また、ここではこれらの概念が具体的にどう捉えられているかを見るために、単なる A ist B という名詞で名詞を説明しているものではなく、A ist eine Sache, die B V-t. (A は B を V するものである。) という、これらの概念がより具体的に他の概念にどのように働きかけているかが分かる形式で言い換えられるものを主に取り上げることにする。

以下ではそれぞれのメタファー表現のグループ分けをしているが、なるべく恣意的にならぬよう、その指標を第1節で見た、Dornseiffでそれぞれの概念が属している概念 (Töten / Heftigkeit / Zerstörung / Mut / Feindschaft / Streit / Kampf / Angriff / Hieb- und Stichwaffe / Unentschlossen / Kampf / Widerstand / Internationale Politik / Unordnung / Unvollendet lassen / Gefahr / Misslingen) に定め、それらに該当しないものは随時新たなグループを作成した。以下、5.1. 節では Krieg/Konflikt/Krise のすべてに共通した表現、5.2. 節では Krieg と Konflikt/Krise どちらかに共通するものが見られなかったため、Konflikt と Krise に共通する表現を扱う。さらに 5.4~5.6. 節では、Krieg/Konflikt/Krise のそれぞれにのみ見られるメタファー表現を取り上げる。

メタファーから見た Krieg (戦争) —意味的に類似する語彙との比較 (小野寺亨太)

## 5.1. Krieg/Konflikt/Krise に共通するメタファー表現

### 5.1.1. Zerstörung (破壊) のメタファー表現

- (3) Krieg ist eine Sache, die Wirtschaft trifft (戦争は経済に直撃するものである)

**Der Krieg in der Ukraine trifft die Wirtschaft in Deutschland und in der Welt.** Die EZB erwartet im schlechtesten Fall 7 Prozent Inflation.

ウクライナ戦争はドイツと世界中の経済に直撃している。EZB は最悪のシナリオではが最悪の場合 7% のインフレを予想している。(筆者訳)

F.A.Z. (18.03.2022) „Nur noch halb so viel Wachstum“ *F.A.Z.*

- (4) Krise ist eine Sache, die Unternehmen trifft (危機は企業に直撃するものである)

**Von den deutschen Energieversorgern trifft die Krise Uniper ganz besonders hart, denn das Unternehmen ist so eng mit Russland verflochten wie kein anderer Energiekonzern.** Uniper betreibt Kraftwerke mit mehr als 4000 Mitarbeitern in Russland und ist an der nun gestoppten Erdgasleitung Nord Stream 2 beteiligt.

ドイツのエネルギー供給会社のうち、危機は Uniper に特に厳しく直撃している、というのもその企業は、他のエネルギー会社のようにではなく、ロシアととても近しく絡み合っているからである。Uniper はロシアで 4,000 人以上の従業員とともに発電所を運営しており、そしてその発電所は現在停止しているのノルドストリーム 2 の天然ガスパイプラインに関与している。(筆者訳)

F.A.Z. (25.02.2022) „So trifft der Krieg die Unternehmen“ *F.A.Z.*

- (5) Krise ist eine Sache, die Arbeit trifft (危機は仕事に直撃するものである)

Lebensmittel werden teurer. Verbraucher müssen sich daran gewöhnen, dass sie vor allem für Fleisch und Wurst deutlich mehr ausgeben müssen. **Konventionelle Tierhalter trifft die Krise besonders hart, weil sie auf den Zukauf großer Mengen an Kraftfutter angewiesen sind, vor allem in der Schweine- und Geflügelmast.** Das wirkt sich entscheidend auf die Produktpreise im Laden aus. Das betrifft auch andere tierische Produkte wie Milch, wenngleich die Futterpreise hier nicht so stark steigen. Grundfutter für Milchkühe, also Heu und Silage, wird in Deutschland erzeugt.

食料品はますます高価になっている。消費者は慣れなければならない、特に肉やソーセージに顕著に多くの出費しなければならないことに。従来の畜産農家にその危機は特にひどく直撃している、なぜなら畜産農家は大量の濃厚飼料の追加購入に頼らざるを得ないからである、特に豚や鳥類の肥育において。それは決定的に店の商品価格に影響をもたらす。それはまた牛乳などの他の動物性の製品にも当てはまることではあるが、飼料価格はここではそれほど強く上昇しない。乳牛のための基本飼料、つまり干し草や発酵飼料はドイツで生産されている。(筆者訳)

SZ (09.03.2022) „Wie wirkt sich der Krieg auf die Lebensmittelpreise in Deutschland aus?“ SZ.

- (6) Krise ist eine Sache, die die ganze Welt trifft. (危機は全世界に直撃するものである)

メタファーから見た Krieg (戦争) —意味的に類似する語彙との比較 (小野寺亨太)

**Diese Krise trifft die ganze Welt.** Auf die Ukraine und Russland entfallen knapp 30 Prozent aller Getreideexporte. Aber in der Ukraine wird die Saat nicht ausgebracht, die Ernte wird weltweit schrumpfen. Düngemittel werden knapp und teurer, was die Produktion erschwert. Das trifft Landwirte von Indien bis nach Amerika.

この危機は全世界に直撃している。ウクライナとロシアに穀物輸出全体の 30% 弱が分配されている。しかし、ウクライナでは種は蒔かれず、収穫は世界中で縮小するだろう。肥料は不足し、高騰し、生産を妨げるものになっている。それはインドからアメリカまでの農家に直撃している。(筆者訳)

F.A.Z. (19.03.2022) „Energiesteuern nicht senken“ *F.A.Z.*

(7) Krise ist eine Sache, Arme trifft (危機は貧しい人に直撃する)

Das Hungerproblem wird sich verschärfen. **Jede Krise trifft die Ärmsten am stärksten, das sehen wir an der Corona-Pandemie und der Klimakrise.** Die Regionen, die jetzt schon wenig lokale Landwirtschaft haben und auf Importe angewiesen sind, werden besonders unter dem Krieg leiden. Die Ukraine und Russland sind für viele Länder im Nahen Osten und Afrika die Hauptlieferanten von Getreide. Das braucht unsere Aufmerksamkeit. Wir müssen nicht nur mit Geld und Nahrungsmitteln helfen, sondern auch damit, die Versorgung vor Ort zu stärken.

餓問題は悪化するだろう。あらゆる危機は最も貧しい人々に最も強く直撃する、私達がコロナパンデミックや気候危機で見られるように。地域、現在すでにわずかに地元の農業を持ち、輸入に頼っている地域

は、特に戦争の被害を受けるだろう。ウクライナとロシアは、中東とアフリカの多くの国への穀物の主要供給国である。それに私達は注意が必要である。私達はお金や食料を支援するだけでなく、地元の物資を強化することで支援する必要がある。(筆者訳)

F.A.Z. (09.03.2022) „Das Hungerproblem wird sich verschärfen“ *F.A.Z.*.

- (8) Konflikt ist eine Sache, die einen Schlag versetzt (争いは経済や政治に打撃を食らわすものである)

Handelsminister Mehmet Mus machte für das Defizit den strengen Winter, die hohen Energiepreise, aber auch den Krieg verantwortlich. „Russland und die Ukraine gehören beide zu den wichtigen Handelspartnern der Türkei“, sagte er. **Der Konflikt habe der regionalen Wirtschaftstätigkeit und der politischen Stabilität einen schweren Schlag versetzt.**“

「Mehmet Mus 貿易大臣は、赤字は厳しい冬、高いエネルギー価格、しかしまた戦争が原因であると述べた。「ロシアとウクライナはどちらもトルコの重要な貿易相手である」と同士は述べた。その紛争はその地域の経済活動と政治的安定に深刻な打撃を食らわせた。」(筆者訳)

F.A.Z. (09.03.2022) „54 Prozent Inflation“ *F.A.Z.*.

- (9) Krieg ist eine Sache, die Hoffnung zerstört (戦争は希望を打ち砕くものである)

メタファーから見た Krieg (戦争) —意味的に類似する語彙との比較 (小野寺亨太)

Ende des vergangenen Jahres war die Welt zwar auch nicht in Ordnung, aber die Hoffnung auf einen spürbaren Wirtschaftsaufschwung dominierte unter Wirtschaftsforschern. (...) **Drei Monate später hat der russische Angriffskrieg diese Hoffnung zerstört.**

昨年末、世界は秩序が整っていませんでしたが、経済研究者の間では顕著な景気回復への期待が支配的でした。(…) 3 か月後、ロシア侵略戦争がこの希望を打ち砕いた。(筆者訳)

F.A.Z. (18.03.2022) „Nur noch halb so viel Wachstum“ *F.A.Z.*

- (10) Krieg ist eine Sache, aus der den Traum reißt (戦争は夢から引きはがすものである。)

**Die Möbelhersteller riss der Krieg aus den Wachstumsträumen.**

家具メーカーを戦争は、成長の夢から引きはがした。(筆者訳)

SZ (13.03.2022) In Italien bangen viele Unternehmen wegen des Krieges  
in der Ukraine um ihr Überleben SZ.

上記の (3) ～ (10) の例は全て破壊に関係するメタファー表現である。そのうち (3) ～ (7) の例は、Krieg/Krise/Konflikt が何かに当たる、接触するという意味を持っている。それに加え (9) と (10) の例は、何かに当たった結果、当てられたものが破損した状態になるまでの意味を含んでいる。まず (3) ～ (6) の例で使われている treffen という動詞は、DUDEN (オンライン版) を参照すると、「(弾丸や銃弾、打撃などによって) 達する誰か、何かに、多かれ少なかれ力まかせに触れること [そして

その際、けがをさせたり、傷つけたりする]」という意味を持つ。したがって、本来 *treffen* という動詞は、触れられる物体に強い力で接触し、破損させる、機能させなくするなどの性質を持っているといえる。その性質のうち、具体的な物体に触れるという意味を除いた性質がこれらの概念に付与されている。例えば (3) の例では、*Krieg* がドイツや世界の経済を直撃するものとして、(4) ～ (6) の例では、*Krise* が特定の会社や職業、階層、また世界の経済を直撃するものとして表されている。また *treffen* と同等の意味として、(8) の例では *Konflikt* とともに *einen schweren Schlag versetzen* (重い一発を食らわす) が使われている。したがって、*Krieg*/*Konflikt*/*Krise* どの概念も、何かに接触し破壊や損害をもたらすものとして表されていることがわかる。しかし *Krise* のカバーする範囲が特定の職や会社、階層などの局所的なものから全世界という広範囲な記述まで見られる一方、*Krieg* や *Konflikt* は、*Krise* の範囲までは及んでいないため、*Krise* は *Krieg* と *Konflikt* の上位に来る概念であると考えられる。そして問題は *Krieg* と *Konflikt* の関係である。そこで、*Krieg* のみに見ることができる破壊のメタファー表現の例である (9) と (10) の例を確認する。*Krieg* は例えば (9) の例では、希望を打ち砕いたり、(10) の例では、成長の夢から引きはがしたりするものとして表されている。ここで使われている *zerstören* (砕く／ダメにする)、*reißen* (引きちぎる) を DUDEN (オンライン) で見ると、それぞれ「強く傷つけ、それによって使えなくする」、「2つに裂ける、バラバラになる、引きはがす (取り壊す)」とある。したがって、*Konflikt* よりも、より具体的な破壊行為を表していることから、*Krieg* は *Konflikt* の下位概念として位置することが考えられる。

## 5.2. Konflikt/Krise に共通するメタファー表現

### 5.2.1. Offenlegung（公開）のメタファー表現

- (11) Konflikt ist eine Sache, die stoffliche Abhängigkeit offenlegt（争いは物資の依存を公開するものである）

Noch vor einigen Wochen hätte man Cingolani als Verteidiger fossiler Energien beschimpfen können. **Der von Russland eskalierte Konflikt in der Ukraine hat die Abhängigkeit von russischen Rohstoffen schmerzhaft offengelegt.**

まだ数週間前であれば、Cingolani は化石燃料の防御者として罵倒されていたかもしれない。ロシアによって激化したウクライナでの争いは、ロシアの原材料の依存を痛く公開した。（筆者訳）

F.A.Z.（11.03.2022）„Eine Wette auf die Fossilien“ *F.A.Z.*.

- (12) Konflikt ist eine Sache, die Abhängigkeit von Energien offenlegt  
（争いはエネルギーの依存を公開するものである）

Bestehende Notwendigkeiten für eine digitale und ökologisch verträgliche Weiterentwicklung der Wirtschaft werden durch den Krieg in der Ukraine verschärft. **Der Konflikt habe offengelegt, dass die Abhängigkeit einerseits von fossiler, andererseits von russischer Energie langfristig nicht vertretbar sei.** Auch Abhängigkeiten im Handel von Russland und weiteren unzuverlässigen Partnern wie China müssen überdacht werden.

デジタルと生態系に合った経済のさらなる発展に対する既存の必要性

は、ウクライナ戦争によってさらに悪化しています。その争いは公開した、一方では化石エネルギーに依存し、他方ではロシアのエネルギーに依存することが長期的には支持できないことを。またロシアや中国などの他の信頼できないパートナーへの貿易における依存も再考されなければならない。(筆者訳)

F.A.Z. (17.03.2022) „DSGV warnt vor Kriegsfolgen“ *F.A.Z.*

- (13) Krise ist eine Sache, die Abhängigkeit von der politischen Sicherheit der Märkte und Börsen zeigt.

(危機は市場と証券取引所と政治的安全保障の間の依存を示すものである)

**Die Ukraine-Krise zeigt deutlich, wie stark Märkte und auch die Börsen von politischer Sicherheit abhängig sind.** Das russische Vorgehen hat eine destabilisierende Wirkung auf ganz Europa. Unsere gegenseitigen wirtschaftlichen Abhängigkeiten sind sehr groß. Daher treffen uns die Ereignisse des Konflikts unmittelbar, wie wir an den stark steigenden Energiepreisen sehr deutlich sehen.

ウクライナ危機は明確に示している、如何に強く市場と証券取引所が政治的安全保障に依存しているかを。ロシアの行動は不安定な影響をヨーロッパ全土に与えている。私たちの相互の経済的依存は非常に大きい。したがって、私たちに争いの結果は直接命中する、私たちがかなり高騰しているエネルギー価格で明らかに見るように。(筆者訳)

NICO FRIED (28.02.2022) „Richtig. Aber gut?“ *SZ.*

- (14) Konflikt ist eine Sache, die Defizite offenlegt（争いは赤字を公開するものである）

AfD-Fraktionsvize Gerd Mannes sagte, **die Krise lege „Defizite der Regierung schonungslos offen“**, doch der Ministerpräsident „scheint heimlich unsere Anträge zu studieren“. So sei die AfD zum Beispiel stets für den „bewährten Strommix aus konventionellen Kraftwerken, Kernenergie und erneuerbaren Energien“ eingetreten oder habe für die Wehrpflicht plädiert, während die Wehrfähigkeit von der Union „regelrecht sabotiert“ worden sei. AfD 国会議員グループのゲルト・マネス副党首は言った、**その危機は「政府の赤字を容赦なく公開している」**が、首相は「密かに私たちの申請を検討しているようだ」と。したがって AfD は例えば常に「従来の発電所、核エネルギー、再生可能エネルギーの実証された電力の混合」に対して主張したり、兵役の義務を主張したりする一方、連合の軍事能力を「完全に妨害」してきた。（筆者訳）

ANDREAS GLAS UND JOHANN OSEL（16.03.2022）„Söder baut auf  
Kernkraft und auf neue Allianzen“ *F.A.Z.*

- (15) Krise ist eine Sache, die wirtschaftliche Auswirkung zeigt（危機は経済的な悪影響を示すものである）

**Die aktuelle Russland-Ukraine-Krise mit ihren massiven wirtschaftlichen Auswirkungen auf Deutschland, Europa und die Welt zeigt, dass wir mehr denn je eine Stärkung der transatlantischen Wirtschaftspart-**

**nerschaft brauchen”, sagte Klöckner.**

ドイツ、ヨーロッパ、そして世界に多大な経済的影響を伴う現在のロシアウクライナ危機は示している、私たちがこれまでよりも大西洋を越えた経済連携の強化の必要があることを。」と Klöckner は述べた。  
(筆者訳)

Katja Gelinsky (16.03.2022) „CETA-Gegner scheitern“

(11) ～ (15) の例では、Konflikt と Krise が依存関係や経済の実態、影響を公開するものとして表されている。Konflikt と Krise では、Konflikt には *offenlegen*、Krise には *zeigen* という動詞が用いられている。DUDEN (オンライン版) でそれぞれの意味を確認すると、*offenlegen* は「はっきりと明確に説明 / 公表すること、分かりやすくすること」であり、*zeigen* は「指や腕で特定の方向を示すこと、指を誰かや物、場所において、人や物のある部分に向けること、そしてそれでそれに気づかせること」という意味である。どちらも人に不明瞭なものを説明したり、気づかせたりさせる行為である。Konflikt が物資やエネルギーの依存やそれに伴い赤字などを表しているのに対して、Krise はそれに加え、(15) の例に見るような、より抽象的で捉えにくい概念も表している。したがって、ここでは、Krise が Konflikt よりも広範囲により抽象的な概念に働きかけているため、上位に位置すると考えられる。

### 5.3. Krieg のメタファー表現

#### 5.3.1. Feindschaft (敵意 / 敵対関係) のメタファー表現

(16) Krieg ist eine Sache, die, was Gesundheit trifft schadet. (戦争は健康に関

メタファーから見た Krieg（戦争）—意味的に類似する語彙との比較（小野寺亨太）

するものを害するものである）

**„Der Krieg ist ein alter, grausamer Feind der Gesundheit. Er bedeutet nicht nur Blut und Schmerzen, Kälte und Hunger, Infektionen und die kaum auszuhaltende Last auf den Seelen der Menschen. Wo Raketen und Bomben einschlagen, nehmen auch die Gesundheitsversorgung und Präventionsvorhaben Schaden.** Fortschritte gegen Krankheiten, oft in jahrzehntelanger Kleinarbeit erkämpft, können im Chaos der Gewalt ausgelöscht werden. Für ein Land wie die Ukraine, das schon vor dem Krieg auf humanitäre Hilfe angewiesen war, trifft all dies in besonderem Maße zu.“

「戦争は健康の古く、残酷な敵である。戦争は、血と痛み、寒さと飢え、感染症と人々の魂への耐え難い重荷だけを意味するのではない。ロケット弾や爆弾が落ちた場所では、また医療や予防計画も被害を受ける。病気に対する進歩、よく数十年にわたる骨の折れる細かな取り組みによって勝ち取られる進歩は、暴力の無秩序の中で起こり得る。ウクライナのようなある国、すでに戦前から人道的な支援に依存していた国にとって、すべてのこのような国に特に当てはまる。」（筆者訳）

BERIT UHLMANN（04.03.2022） „Angriff auf die Gesundheit“ SZ.

（16）の例は、まず Feind（敵）というのは、本来違った立場や意思を持つ争い相手のことを表すが、ここでは意思を持たない Krieg（戦争）を、人類の様々な Gesundheit（健康）を害するものとして喩えるために使用している。まず敵というのは、その相対する考えをもった人や集団にとっては悪であるといえ、その悪に打ち勝つために戦い、勝てば安寧を得られ、

負ければ制裁や処刑などを課される。そう考えると、ここでの *Krieg* は、健康にとっての悪、つまり病と捉えることができ、それは倒されるべき、克服すべき対象である。このように *Krieg* を健康の敵、すなわち病であると解釈すると以下のような考察が可能になる。次の文で *Krieg* (戦争) というのは大きく捉えると、医療や予防計画にも被害をもたらすものとわかる。しかし実際に健康被害、医療や予防計画の損害をもたらすのは、戦場で争っている侵略者と防御者、傭兵などの武器を持って戦う者たちや制裁によって引き起こされるものであり、またそれに付随して起こる経済状況の悪化や混乱、食糧不足、ケガや病の拡大、医療崩壊などを起因とするものである。このように *Krieg* の構築物を細分化すると、*Krieg* は表層として現れる病の症状であり、それを構築する参与者などは、目に見えないウィルスと免疫の戦いであると考えられなくない。

さらに後の記述で、暴力の無秩序から医療の進歩が得られ、それがウクライナにも当てはまるとある。この暴力の無秩序というのは、*Krieg* (戦争) と捉えることができ、ここでは目に見える病の状態である。つまり *Krieg* は、病原菌と免疫の激しい戦いの全体的な表れと考えられる。また、ウクライナはその病原体に感染した生き物と捉えられる。人類と病原体の歴史から、人類は長い年月をかけて病を打倒してきた。したがって、この文から推測できることは、*Krieg* (戦争) は、健康に対する敵として表層に現れる病の症状であり、いつの日か病が乗り越えられるという歴史的前提から、乗り越えた後には、*Krieg* の時 (感染中) よりも状況が良くなると考えられているということである。

### 5.3.2. Töten (殺害) のメタファー表現

(17) *Krieg ist eine Sache, die Menschen tötet* (戦争は人を殺めるものである)

メタファーから見た Krieg（戦争）—意味的に類似する語彙との比較（小野寺亨太）

„Katzert weist darauf hin, wie gefährlich auch Wassermangel ist: Kinder vor allem dehydrieren leicht. Dazu könnten sie in der Kälte Lungenentzündung entwickeln. **Krieg tötet nicht nur an der Front.**“

「カッツァーは指摘する、いかに水不足も危険であるかを：というのは、子どもたちは特に脱水症状を起こしやすいのだ。さらに彼らは寒さで肺炎を発症する可能性もある。**戦争は前線のみで殺しはしない。**」  
（筆者訳）

ANDREA BACHSTEIN（19.03.2022）„Tonnenweise Hilfe“ SZ.

（17）の例は **Krieg** を、前線で殺めるに留まらず、子どもを脱水症状にさせたり、病気を発症させたりするものとして喩えている。ここで、**töten** は人や生き物を殺害するという意味の動詞であり、**an der Front**（前線で）という言葉及もあることから、**Krieg** は人を殺める行為者であると考えられ、意思を持った人間に喩えられていると考えられ、さらに（17）の文では、子どもを当て、子どもを脱水症状にさせる、また寒さで病気を患わせることもあるという記述から、具体的に子どもを死に至らしめる行為者であるネグレクトを行うような大人を表しているとも捉えられる。

### 5.3.3. Krieg のその他のメタファー表現

#### 5.3.3.1. Erschütterung（揺さぶり）のメタファー表現

（18）Krieg ist eine Sache, die Gewissheiten erschüttert（戦争は確実性を揺さぶるものである）

„（…） Und da sie mit dem Gas nicht nur heizen und kochen, sondern durch Verbrennung auch einen beträchtlichen Teil ihres Elektrizitätsbedarfs generi-

eren, ist die Sorge nun, da **der Krieg in der Ukraine sicher gewählte Gewissheiten erschüttert**, vielleicht noch größer als in anderen Ländern.“

「(…) そして、彼ら（イタリア人）は、ガスを暖房や調理に使うだけでなく、燃焼によっても、必要な電力のかかなりの部分を生成しているため、現在懸念である、なぜなら**ウクライナでの戦争が確かにすぐれた確実性が揺さぶっているからだ**、おそらく他の国々よりもさらに深刻な（懸念である）。」（筆者訳）

SZ (11.09.2022) „Am Tropf der Tyrannen“ SZ.

(18) の例では **Krieg** が今まで安定していたエネルギー供給の確実性を揺るがすものとして喩えられている。ここで **erschüttern** という動詞は、震えたり、揺れたりする動きを表す。本来、この動詞は **Erdbeben**（地震）などの概念とともに使われ、大地や建物などに影響を与え、不安定にするものである。したがって、**Krieg** は地震など地形や建物を不安定にする災害として、ここでは **Gewissheiten**（確実性）が、**Krieg** によって不安定にさせられる地形や建物に値するものとして喩えられていると考えられる。この文脈で、**Gewissheiten** は、イタリアが頼っていたロシアのガスの供給が安定して続くことへの確実性を指し、それが機能しなくなる可能性があることを **erschüttern**（揺さぶる）という動詞を使って、その原因である **Krieg** が起こしていると捉えている例だと考えられる。

#### 5.4. Konflikt のメタファー表現

##### 5.4.1. Internationale Politik（国際政治）のメタファー表現

(19) **Konflikt ist eine Sache, die Grenze verlässt**（争いは国境を超えるもので

メタファーから見た Krieg (戦争) —意味的に類似する語彙との比較 (小野寺亨太)

ある)

Diese Invasion lässt sich ja nicht mit ein paar Truppenvereinbarungen rückgängig machen oder per Waffenstillstand beenden. Dieser Konflikt hat die Grenzen der Ukraine längst verlassen und ist für Russland zu einer prinzipiellen Auseinandersetzung über die eigene Rolle in der Welt geworden.

この侵略は数回の軍事協定で覆す、あるいは休戦 / 停戦で終わらせたりすることはできない。この争いはウクライナの国境をとくに離れており、この争いはロシアにとって、世界におけるロシア自身の役割についての原則的な対決である。(筆者訳)

STEFAN KORNELIUS (11.03.2022) „Neutral oder neutralisiert?“ SZ.

- (20) Konflikt ist eine Sache, die anderes Gebiet ausweitet (争いは他の領域に拡大するものである)

Besonders in Polen ist nach den russischen Angriffen am Wochenende auf den Westen der Ukraine die Sorge gewachsen, dass **sich der Konflikt auf polnisches Territorium ausweiten könnte**.

特にポーランドでは、週末のウクライナ西部のロシアの攻撃に応じて、懸念が高まっている、その争いがポーランドの領土に拡大する可能性があるという。(筆者訳)

TOMAS AVENARIUS UND VIKTORIA GROSSMANN (16.03.2022)

„Solidaritätsbesuch in der Ukraine“ SZ.

- (21) Konflikt ist eine Sache, die auf Nationalgebiete übergreift (争いは国際的領域に広がるものである)

Länder wie Polen fürchten seit Kriegsbeginn, dass **der Konflikt auf andere Nationalgebiete übergreifen könnte und möglicherweise den Nato-Bündnisfall auslöst.**

ポーランドなどの国々は戦争が始まって以来、懸念している、その争いが他の国際的な領域に広がりうることを、そして NATO 同盟崩壊が起こる可能性があることを。(筆者訳)

NICOLAS FREUND (16.03.2022) „Von Bombardements geweckt“ SZ.

- (22) Konflikt ist eine Sache, die in die Arbeitswelt überschwappt  
(争いは仕事の世界にこぼれるものである)

Seit mehr als drei Wochen führt Russlands Machthaber Wladimir Putin einen Angriffskrieg in der Ukraine. Europa, ja fast die ganze Welt ist darin vereint, diesen Krieg aufs Schärfste zu verurteilen. Doch die Kritik am Aggressor Putin bekommen immer häufiger auch diejenigen zu spüren, die weit weg, etwa hier in Deutschland, leben und arbeiten, aus Russland stammen, russische Namen tragen oder für russische Arbeitgeber tätig sind. **Der Konflikt ist in die Arbeitswelt übergeschwappt - an vielen verschiedenen Stellen.**

3週間以上にわたってロシアの権力者である Wladimir Putin は、ウクライナで侵略戦争を行っている。ヨーロッパ、ほぼ全世界が団結している、この戦争を可能な限り厳しく非難することにおいて。だが、侵略者プーチンへの批判は、人々にますます感じさせる、遠く離れた、

メタファーから見た Krieg (戦争) —意味的に類似する語彙との比較 (小野寺亨太)

例えばここドイツなどで、生活し働いている、ロシアからきた、ロシアの名前を持つ、あるいは、ロシアの雇用者に勤めている人々に。その争いは仕事の世界にこぼれている—多くのさまざまな立場に。(筆者訳)

Natalia Wenzel-Warkentin und Ulrich Frieze (19.03.2022)

„Der Krieg reicht in die Arbeitswelt“

(19) ～ (20) の例は、Konflikt (争い) がウクライナのみならず、他の国や地域にも拡大し影響を及ぼしていることを、Konflikt が移動物であると喩えることで表している。Konflikt がウクライナの領域を出る様子を表すために (19) の例では、verlassen (去る)、(20) の例では sich ausweiten (広がる)、(21) の例では übergreifen (飛び移る) という動詞を用いて、それぞれ戦地であるウクライナから、他の国へと拡大するという性質を Konflikt に付与している点が共通している。さらに (22) の例で、Konflikt は、より広範囲な Arbeitswelt (仕事の世界) にも überschwappen (こぼれている) と喩えられている。この überschwappen という動詞は、液体が容器からこぼれる様を表すことから、ここで Konflikt は容器の中の液体であり、ウクライナという容器からこぼれて、各地に拡大するという、容器の中の液体の性質で喩えられていると考えられる。

#### 5.4.2. Konflikt のその他のメタファー

##### 5.4.2.1. Morast (沼) のメタファー表現

(23) Konflikt ist eine Sache, die man in den Morast schubst (争いは人を争いの沼に押すものである)

Doch Bennett ist nicht nur geschubst worden **in den tiefen Morast eines fernen Konflikts**. Nach Art des Start-up-Unternehmers, der er in jüngeren Jahren gewesen ist, hat er sich mit der Spekulation auf Profit auf dieses Abenteuer eingelassen.

だが、ベネットは、ただ遠い紛争の深い泥沼に追されただけではない。スタートアップの起業家のように、彼が若い時のような、彼は利益を推測してこの冒険に乗り出した。(…) (筆者訳)

PETER MÜNCH (07.03.2022) „Politik nach Start-up-Manier“ SZ.

(23) の例は、Konflikt を Morast (沼) と喩えている。沼というのは一度足を取られると抜け出すのにかなり苦勞がいるものである。ここで、Konflikt の定義を再度確認すると、Konflikt は Krieg よりも広範囲に争い自体を表し、そして困難な状態も表すことから、そのことをより具体的に表すことのできる Morast (沼) という概念の性質を借りていると考えられる。

## 5.5. Krise のメタファー表現

### 5.5.1. Heftigkeit (激しさ) のメタファー表現

(24) Krise ist eine Sache, die die Welt in Atem hält (危機は世界に息をもつかせないものである)

**Die Ukraine Krise hält die Welt in Atem.** Doch die Auswirkungen auf den größten Rückversicherer der Welt, Munich Re, dürften gering sein.

メタファーから見た Krieg (戦争) —意味的に類似する語彙との比較 (小野寺亨太)

ウクライナ危機は世界に息をもつかせない。たが、世界最大の再保険者である Munich Re への影響はわずかだろう。(筆者訳)

F.A.Z. (24.02.2022) „Munich Re zeigt sich krisenfest“ *F.A.Z.*..

(24) の例では、Krise を世界に息をもつかせない、息もつけぬようにするものとして喩えている。第 2 節で Krise は「ある困難で、不確か、あるいは、危険な状況や時」であることを確認した。ロシアウクライナ戦争は、当初起きるはずのないもので何かの間違えだと考えられていた。この突如始まったロシアのウクライナ侵攻から、戦争が始まり、多くの地域で不確かで危険な状況が発生するなどのことを考えると、息をもつかせないというのに、この状況は一致すると考えられる。

#### 5.5.2. Gefahr (危険) のメタファー表現

(25) Krise ist eine Sache, die arme Länder in existenzielle Nöte stürzt

(危機は貧しい国を存続の窮地に陥れるものである)

**Während die aktuellen Krisen das Wohlstandswachstum in Deutschland und anderen reichen Ländern nur dämpfen werden, stürzen sie ärmere Länder in existenzielle Nöte.** Schon die Pandemie hatte viele Länder an den Rand der Zahlungsunfähigkeit gebracht. Weil nun die Ukraine und Russland als große Weizenlieferanten auszufallen drohen und Energie für viele unbezahlbar wird, könnte es in diesem Jahr zusätzlich 8 bis 13 Millionen unterernährte Menschen geben, warnte die UN-Ernährungsorganisation FAO kürzlich.

現在の危機はドイツやその他の豊かな国々の繁栄の成長を弱めるだけだが、その危機はより貧しい国々を存続の窮地に陥れている。すでにパンデミックが、多くの国が支払い不能の縁に持って行った。現在、ウクライナとロシアは、主要な小麦の供給国として機能しなくなりそうであり、そしてエネルギーは多くの人にとって払えなくなっているため、今年にはさらに 800 万人から 1,300 万の栄養不足の人々が生じる可能性がある、国際連合食糧農業機関（FAO）が最近警告した。（筆者訳）

Julia Löhr, Johannes Pennekamp und Christian Siedenbiedel (18.03.2022)

„Nur noch halb so viel Wachstum“ *F.A.Z.*

(25) の例では、Krise を貧しい国を存続の窮地に陥れるものとして喩えている。Krise が表す「ある困難で、不確か、あるいは、危険な状況や時」というのは、人や国の立場や経済的な状況から影響力が違ってくることが考えられる。例えば、ドイツなど先進国は、すでに豊かな暮らしを営む経済力を持っているため、事業を一度緩めたり、止めたりすると長期になれば窮地に陥るが、すぐに存続できなくなるということはない。しかし発展途上国などの比較的貧しい国々にとっては、輸出入が一度滞ってしまうと、その繰り返しでどうにか存続しているため死活問題である。

#### 5.5.2.1. Krise のその他のメタファー表現

#### 5.5.2.2. Chance（機会）のメタファー表現

(26) Krise ist eine Sache, die neue Möglichkeit eröffnet (危機は新たな機会を開くものである)

メタファーから見た Krieg (戦争) —意味的に類似する語彙との比較 (小野寺亨太)

Ich habe einige schlaflose Nächte verbracht in der letzten Zeit. Trotzdem bin ich überzeugt, dass unsere Entscheidungen richtig sind“, sagt Lang. Deutschland müsse jetzt entschlossen seine Abhängigkeit von russischen Energielieferungen beenden. Das stelle das Land vor ungeheure Schwierigkeiten. Es gehe darum, kurzfristig handlungsfähig zu werden. **Und bei allem Kummer über den Krieg, die Krise eröffne auch neue Möglichkeiten.** „Niemand kann den Ausbau erneuerbarer Energien mehr als eine Verliebtheit der Grünen betrachten. Er ist jetzt eine Sicherheitsfrage.

私は数日眠れない夜を過ごしている。しかしながら、確信している、私たちの決定は正しいということを」とラングは言う。ドイツは今、断固としてロシアのエネルギー供給への依存をやめなければならない。それはその国に多大な困難を突きつけている。重要である、短期的に行動可能になるということが。そして、戦争に関するあらゆる悲しみで、危機は新たな機会を開く。「再生可能エネルギーの拡大を、単なる緑の党の熱狂以上のものとして捉える人は誰もいない。その拡大は現在、安全保障上の問題となっている。(筆者訳)

CONSTANZE VON BULLION (18.03.2022) „Auch wenn’s wehtut“ *F.A.Z.*.

(27) Krise ist eine Sache, die Chance, die Energiewende beschleunigt

(危機はエネルギー転換を早める機会である)

„Die Krise ist eine Chance, die Energiewende drastisch zu beschleunigen“, sagt Wenzel. „Es gibt eine überraschend große Einigkeit in Europa, dass man sich aus der Abhängigkeit von Russland lösen muss. Das hätte vor drei Monaten niemand erwartet.“ Und wer jetzt mit erdölexportier-

enden Ländern über erneuerbare Energien spreche, biete ihnen „auch eine Chance, ihre eigene Wirtschaft zu transformieren.“

「危機は1つの機会である、エネルギー転換を露骨に加速させる」と Wenzel は言う。「驚くほど大きい一体感が欧州にはある、ロシアへの依存から放たれなくてはならないという。それは3か月前には誰も予想していなかっただろう。」そして現在、石油輸出国と再生可能エネルギーについて話している人は、自身に提供している、「またある機会も、自身の経済を変革する機会も」。(筆者訳)

CONSTANZE VON BULLION (18.03.2022) „Auch wenn’s wehtut“ *F.A.Z.*

(26) と (27) の例では、危機がエネルギー転換を拡大させたり、加速させたりするものとして喩えられている。ヨーロッパではこれまでロシアに頼っていたガスパイプラインが使用できなくなり、それに替わるエネルギーが考えられている。ここで *Krise* が *Chance* や *Möglichkeit* (機会) と表されているのは、*Chance* や *Möglichkeit* というのは、安定した時には生じず、危険な領域に足を踏み入れることによって生じるものであるからだと考えられる。また機会というのは、危機のように絶対に取り組むべきものではないものの、取り組むとなるとその事柄が終わるまで、普段よりも負担がかかる性質も持つ。したがって、*Krise* はエネルギーの側面で見ると、必須の機会として上記のような性質を受け継いでいると言える。

### 5.5.2.3. Entwicklung (発展) のメタファー表現

(28) *Krise ist eine Sache, die Nachhaltigkeitsdebatte einen Schub verleiht*

(危機は持続可能性の議論を一押しするものである)

メタファーから見た Krieg（戦争）—意味的に類似する語彙との比較（小野寺亨太）

**Auch die aktuelle Ukraine Krise habe das Potential, der aktuellen Nachhaltigkeitsdebatte einen Schub zu verleihen.**

また現在のウクライナ危機は潜在性があるらしい、現在の持続可能性の議論を一押しする。（筆者訳）

Svea Junge, Frankfurt (17.03.2022) „Die Lehren aus der Ölpreiskrise“ *F.A.Z.*

(29) Konflikt ist eine Sache, die Preise treibt（争いは価格を駆り立てるものである）

Doch ist das nicht alles, wie etwa die Osteuropaexperten der KBC-Bank analysieren. **Der Konflikt treibe die Energie- und Rohstoffpreise**, und diese trieben die Inflation.

しかし、それがすべてではなく、例えば KBC 銀行の東欧専門家は分析している。**その争いはエネルギーと原材料の価格を駆り立て**、そしてこの駆り立てがインフレを駆り立てている。（筆者訳）

F.A.Z. (26.02.2022) „Putin versetzt Märkte in Zentraleuropa in Aufruhr“ *F.A.Z.*

(28) と (29) の例では、(28) の例が **Krise** を持続可能性の議論を一押しするものとして、(29) の例が **Krise** をエネルギーと原材料の価格を駆り立てるものとして喩えている。これは (26) と (27) の例で見た通り、これまで戦争によりロシアに頼っていたガスパイプラインが使用できなくなり、代替えが必要になった状況であるため生じた表現と考えられる。**Krise** は困難で不安定で危険な状態であり、ロシアウクライナ戦争は、この 1 ヶ月間は日々過激さを増していたため、危機もそれに応じて (28) の

例のように、生活に関わるエネルギーなどは価格を駆り立てるものとして表されており、Krise に決断を必要とするという記述が第一節で確認したことから、Krise は (29) の例において、議論を進める必要があるものと喩えられていると言える。

## 5.6. Krieg/Konflikt/Krise のメタファー表現の考察

まず 5.1. 節では Krieg/Konflikt/Krise すべてに共通するメタファー表現を見た。ここでは Krieg が具体的にドイツと世界へ直撃するものとして Treffen という動詞を用いて表わされており、ここで Krise がより詳細に会社や職業、階層、反対に広範囲の世界の経済へ直撃していることを踏まえ、Krise が Krieg の上位概念に、さらに Krise が Konflikt の表す意味の範囲もカバーしているため Krise → Konflikt → Krieg の順に抽象的になっていると仮定した。さらに 5.2. 節では、Krieg と Konflikt で共通するメタファー表現が見られなかったため、Konflikt と Krise に共通するメタファー表現を見た。ここでは、人に何かを公開したり、示したりする動詞である offenlegen と zeigen が使用されているメタファー表現の例を見た。ただ Konflikt が物資やエネルギーへの依存、それに付随する政府の赤字などをメタファーによって表している一方で、Krise も具体的に市場、証券取引所と政治的安全保障の依存関係を表してはいるものの、国、大陸、世界の経済的悪影響という大きな範囲も表していることから、Krise が Konflikt よりも広い意味を持った概念であると仮定した。さらに、5.3. 節から 5.5. 節では、それぞれ、5.3. 節で Krieg のメタファー表現を、5.4. 節で Konflikt のメタファー表現を、5.5. 節で Krise のメタファー表現を見た。そこで以下のように Krieg は Feindschaft/Töten/ Erschütterung/Spiel に、Konflikt は Internationale Politik/Morast に、Krise は Heftigkeit/Gefahr/

Chance/Entwicklung に分類された。この分類から、大まかな抽象度に違いが見られるため Krieg → Konflikt → Krise の順に上位概念になっていることがこの分類からも推測できる。

次に 5.3. 節で扱った Krieg では、Krieg が行為者となるメタファー表現の多くが、töten や erschüttern など実際には物理的に何かに被害を与えたり、破壊したりする動詞が来ることを確認した。5.4. 節で扱った Konflikt も移動を表すという点では、Konflikt が物理的な行動をするものとして捉えられていることがわかる。ただ、5.1. 節で見るように Konflikt は Krieg と同様、具体的なある物体に直撃するものではあるものの、Konflikt のみが持つ性質として、沼や内容物が本来の場所から漏れ出て広範囲に広がる性質がメタファー表現に見られるという点で、Krieg と比較できる。ここに第 1 章で見た Krieg と Konflikt の表す争い自体の範囲の違いが現れていると考えられる。というのは、Krieg が局所的な争いを中心に表すのに対して、Konflikt が小さなことも争いに含むということから、広範囲に起こりうるものと考えられるためである。次に 5.5. 節で扱った Krise だが、Krise も 5.1. 節で、何かに物理的に直撃するという性質を持つものということに加え、争いだけではなく、争いから生じる様々な状態や展望、事態への言及もメタファー表現を使って行われている。これは、5.2. 節で Krise と Konflikt に共通しているメタファー表現よりも範囲が広いため、Krise は Konflikt の上位に来ると考えられる。

## 6. 結

辞書、百科事典の記述から、Krieg/Konflikt/Krise という概念が、下位概念と上位概念という関係性にあるという仮定のもと、メタファー分析を行った結果、これらの概念は上段に Krise、中段に Konflikt、下段に Krieg という上位一下位の位置関係にあることが明らかになった。これらの概念は

ある物に物理的に働きかける性質を持つ動詞と結びついてメタファー表現となっている点で共通しているが、個々の概念のメタファーを順に見ていくと、Krieg のメタファー表現は全て具体的な参与者の予測がつく動詞で構成されており、次の Konflikt は Krieg と同じ部類のメタファー表現を持ち、Krieg のようにかなり具体的な概念で喩えている例 (Morast (沼)) も見られた一方で、移動する物に大まかに喩えている例もあった。このことから、を Konflikt は争いを表す意味の範囲が Krieg よりも広いことが分かった。そして Krise も Krieg と同じメタファー表現を持つものの、共通したメタファー表現以外は、その全てが具体的な参与者の想像がより困難な概念で喩えている例であった。

したがって、冒頭で Krieg であっても、Konflikt や Krise でない、その逆もないと考えられたのは、これらの概念が、その意味の大部分を占めている性質において、意味的に一致がみられるためであると考えられる。また上位概念、下位概念という関係性は、Krieg で表されていることの多くを Konflikt と Krise がカバーしており、そこにさらに多くのメタファー表現が見られたこと、Krise が konflikt よりもさらに抽象的な概念をメタファー表現で扱っていることなどを踏まえると、これらの概念は、最上位に Krise、中央に Konflikt、最下位に Krieg という上位—下位の位置関係にあることがわかる。

#### (参考文献)

Dancygier, Barbara/ Sweetser, Eve (2021) 『比喩とは何か—認知言語学からのアプローチ』(野村益寛他訳) 開拓社。

Filipp Dzyadko (26.02.2022): Moskauer Journalist und Schriftsteller, in *Süddeutsche Zeitung*, URL: <https://archiv-szarchiv-de.glim-ezp.idm.oclc.org/Portal/restricted/ExtendedResultList.act>

メタファーから見た Krieg (戦争) —意味的に類似する語彙との比較 (小野寺亨太)

Duden online (14.04.2024): Kampf. URL: <https://www.duden.de/suchen/dudenonline/Kampf> (Abgerufen: 14.04.2024)

Duden online (07.04.2024): Konflikt. URL: <https://www.duden.de/suchen/dudenonline/Konflikt> (Abrufdatum: 07.04.2024)

Duden online (07.04.2024): Krieg. URL: <https://www.duden.de/suchen/dudenonline/Krieg> (Abrufdatum: 07.04.2024)

Duden online (07.04.2024): Krise. URL: <https://www.duden.de/suchen/dudenonline/Krise> (Abrufdatum: 07.04.2024)

Duden online (07.04.2024): Streit. URL: [https://www.duden.de/suchen/dudenonline/Streit#google\\_vignette](https://www.duden.de/suchen/dudenonline/Streit#google_vignette) (aufgerufen am 07.04.2024)

Duden online (14.04.2024): Widerstand. URL: [https://www.duden.de/suchen/dudenonline/Wider-stand#google\\_vignette](https://www.duden.de/suchen/dudenonline/Wider-stand#google_vignette) (Abrufdatum: 14.04.2024)

DWDS (08.03.2024): Konflikt. URL: <https://www.dwds.de/wb/Konflikt>, abgerufen am 08.03.2024.

DWDS (08.03.2024): Krieg. URL: <https://www.dwds.de/wb/Krieg>, (auferufen am 08.03.2024.)

DWDS (08.03.2024): Krise. URL: <https://www.dwds.de/wb/Krise>, (aufgerufen am 08.03.2024.)

DWDS (14.04.2024): Streit. <https://www.dwds.de/wb/Streit>, abgerufen am 14.04.2024.

DWDS (14.04.2024): Widerstand. <https://www.dwds.de/wb/Widerstand>, abgerufen am 14.04.2024.

小泉悠 (2022) 『ウクライナ戦争』 ちくま新書。

小松原 (2022) 『矛盾する比喩と社会的葛藤—日本語における「コロナ禍」の概念メタファーの不和—』 第 25 巻第 1 号 『社会言語科学』、86～101 ページ。

Lakoff, George/Johnson, Mark (1980): *Metaphors we live by*. Chicago: University of Chicago Press.

レイコフ、G./ジョンソン、M. (1986) 『レトリックと人生』 大修館書店。

Lakoff, George (1992). *Metaphor and War: The Metaphor System Used to Justify War in the Gulf*. UC Berkeley: Department of Linguistics. URL: <https://escholarship.org/uc/item/9sm131vj> (abgerufen 20.03.2024)

松本曜編 (2003) 『認知意味論』 大修館書店。

最上英明 (1994) 「メタファーと認知」 香川大学一般教育部『香川大学一般教育研究』、71～80 ページ。

中野阿佐子 (2016) 『メタファーはどのように特定するのか—工学的アプローチの比較と評価—The 30th Annual Conference of the Japanese Society for Artificial Intelligence.』

NE GmbH Brockhaus (08.03.2024): Konflikt. URL: <https://brockhaus.de/ecs/enzy/article/konflikt?isSearchResult=true> (aufgerufen am 2024-03-08)

NE GmbH Brockhaus (08.03.2024): Krise. URL: <https://brockhaus.de/ecs/enzy/article/krise-allgemein?isSearchResult=true> (aufgerufen am 2024-03-08), NE GmbH Brockhaus.

NE GmbH Brockhaus (08.03.2024): Krieg. URL: <https://brockhaus.de/ecs/enzy/article/krieg-20?isSearchResult=true> (aufgerufen am 2024-03-08), NE GmbH Brockhaus.

NE GmbH Brockhaus (08.03.2024): Widerstand. URL: <https://brockhaus.de/ecs/enzy/article/wider-stand?isSearchResult=true> (aufgerufen am 2024-04-14), NE GmbH Brockhaus.

大堀壽夫 (2002) 『認知言語学』東京大学出版会。

小野寺亨太 (2023) 『報道文における Krieg の概念メタファーについて』、89～107 ページ。

Pragglejaz Group (2007): MIP: *A Method for Identifying Metaphorically Used Words in Discourse*.

- 1) 小泉 (2022: 23～24)。
- 2) 松本編 (2003: 8)。
- 3) レイコフ／ジョンソン (1986: 3)。

*Krieg* aus metaphorischer Sicht  
— Vergleich mit semantisch ähnlichem Wortschatz

ONODERA, Kyota

Der Konflikt zwischen Russland und der Ukraine wird im Internet *Der Russisch-Ukrainische Krieg/Ukraine-Konflikt/Ukraine-Krise* usw. genannt. Die Begriffe *Krieg*, *Konflikt* und *Krise* werden also sehr ähnlich verwendet, und es wird angenommen, dass sie eine ähnliche oder gemeinsame Bedeutung haben. Allerdings bedeuten *Konflikt* und *Krise* nicht unbedingt *Krieg*. Daher gilt es zu analysieren, in welchem Verhältnis diese Begriffe zueinanderstehen und wie sie sich unterscheiden. Vor diesem Hintergrund wird in dieser Arbeit ein Vergleich zwischen *Krieg* und ähnlichen Begriffen wie *Konflikt* und *Krise* vorgenommen, um ihr Verhältnis aus metaphorischer Sicht zu analysieren.

In Abschnitt 1 wurden die Definitionen von diesen Begriffen in verschiedenen Wörterbüchern und Enzyklopädien bestätigt, und dann wurde in Abschnitt 2 ermittelt, was eine Metapher ist. Anschließend wurden die Art und Weise der Identifizierung von Metaphern mit der Methode MIP in Abschnitt 3 erklärt<sup>1)</sup>. Um zu sehen, wie die drei Zielkonzepte in Abschnitt 4 wahrgenommen und eingesetzt werden, wurden die Süddeutsche Zeitung und die Frankfurter Allgemeine Zeitung zur Sammlung und Analyse von Metaphern herangezogen. Die Artikel wurden jeweils vom 24. Februar bis zum 24. März 2022 gesammelt. Schließlich haben wir in Abschnitt 5 aufgrund der Hypothesen und der Analyseergebnisse bis Abschnitt 4 Unterschiede in der Wahrnehmung der einzelnen Konzepte festgestellt und versucht, die Relation zwischen diesen Begriffen zu beschreiben. Die Ergebnisse zeigen, dass das Verhältnis zwischen diesen Vorstellungen als Ober- und Unterbegriff so ist, dass *Konflikt* und *Krise* viel von dem abdecken, was in *Krieg* mit metaphorischen Ausdrücken vermittelt wird, und dass *Krise* noch abstraktere Konzepte als *Konflikt* mit metaphorischen Ausdrücken behandelt. Bei der Betrachtung der Begriffe wurde festgestellt, dass *Krise* weitreichender als *Konflikt* und *Krieg* ist und *Konflikt* umfassender als *Krieg* ist.

- 1) Pragglejaz Group (2007): MIP: *A Method for Identifying Metaphorically Used Words in Discourse*.

(ドイツ語ドイツ文学専攻 博士前期課程 2 年)